

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	M03137
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ	<a href="http://www.torvo.or.jp">http://www.torvo.or.jp</a>



JQA-2631(本社工場)  
JQA-EM3548(本社工場)

## 水系 2液型エポキシ樹脂さび止め塗料

# 水系 ハイエポソ

水系ハイエポソは、環境を配慮した水系塗料でありながら、防食性、付着性を高めた水系2液型エポキシ樹脂さび止め塗料です。建築物の屋根基材、および周辺金属部等の塗り替えに最適です。

溶剤、弱溶剤タイプよりも臭気が少なく、消防法上の非危険物として取扱い可能となり、安全性が高い塗料です。さらに水系の上塗り塗料と組み合わせることでオール水系仕様での防錆仕様が可能となります。

### 用途

- 金属屋根材の塗替え改修、建物外部の鉄部全般

### 特長

- 水系塗料でありながら高い防錆性能を発揮。
- 水道水で希釈ができ、臭気が少なく環境に配慮した水系塗料。
- 鉛・クロムフリーで安全性で、防食性に優れる。
- 各種金属基材、各種旧塗膜に対しての付着性に優れる。

### 適合下地

各種カラー鋼板・無塗装金属板

各種金属基材との適合性

金属基材		塗装可否
カラー鋼板 (一般ポリエステル系)	カラートタン	○※1
	カラーガルバニウム鋼板	○※1
	カラーアルミニウム板	○※1
塩化ビニル鋼板		×
フッ素鋼板		×
無塗装板	鉄	○
	電気亜鉛めっき鋼板	○
	ステンレス鋼板(SUS430)	○※2
	ステンレス鋼板(SUS304)	○※2
	アルミニウム板(A1050P)	×
	銅板(C1100P)	○※3
	溶融亜鉛めっき鋼板(トタン)	○※4
	アルミ合金めっき鋼板(ガルバリウム鋼板)	○※4

既存塗膜との適合性

既存塗膜 (艶がなく樹脂が劣化している状態)		塗装可否
1液型特殊アクリル	トタンペイント(特殊アクリル系)	○※5
1液型シリコン変性	シリコン系トタンペイント	○
1液型アクリル	トタンポリマ	○
1液型ポリエステル	トタンライトデラックス	○
1液型シリコン変性	デルニEX	×
2液型ポリウレタン	ルーフマイルドU	○
2液型シリコン変性	ルーフマイルドSi	○
2液型バイオマスシリコン	バイオマスR-Si	○
2液型シリコン変性	PSマイルドSコート	○
2液型シリコン変性	パワーシリコンマイルドII	○
2液型フッ素	パワーフロンマイルド	×

※1 基材が未劣化の場合は塗装できません。

※2 必ず目粗しをしてから塗装してください。

※3 必ず酸処理をしてから塗装してください。

※4 基材が未劣化の場合は目粗しをしてから塗装してください。

※5 既存塗膜と下地との密着が悪い場合が多いためしっかりと確認してください。

### 適合上塗材

- 各種水系塗料  
ルーフピアニ、水系ナノシリコン

# 塗装仕様

工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗回数	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、塗膜に膨れ、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。									
下塗り	水系ハイエボン 主剤9kg 硬化剤6kg	0.8~1.1 kg	ハケ・ ローラー	1	0.16~0.18	83~94	4h以内	—	16h以上 7日以内	—
上塗り	ルーフピアニ A液 15kg B液0.3kg	0.7~2.3 kg	ハケ・ ローラー	2	0.12~0.15	51~64	24h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上

※ 塗付量には水を含まれておりません。塗付量は条件により増減します。

## 可使時間

	温度					
	5℃	10℃	20℃	25℃	30℃	35℃
可使時間	使用不可	4h	4h	4h	3h	2h
塗装間隔	/	20~24h以上 7日以内	16h以上 7日以内	16h以上 7日以内	16h以上 7日以内	16h以上 7日以内

## 荷 姿

水系ハイエボン 15kgセット (主剤9kg 硬化剤6kg)  
5kgセット (主剤3kg 硬化剤2kg)

## 色 目

グレー (日塗工 N50 程度)

## 注意事項

\* ルーフピアニは2液反応硬化型です。

A液とB液の混合は必ず規定の調合割合になるよう混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。  
A液とB液混合後及びB液の水希釈後の可使時間は24時間(夏季)です。

○下塗り材:水系ハイエボン

- 2液硬化型ですので主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 主剤と硬化剤は別々に密栓し、保管は凍結させないよう3℃以上の室温で行ってください。  
又、開栓後はなるべく早目に使い切ってください。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 可使時間を過ぎても塗料粘度の上昇がほとんどないため使用可否を判断できません。可使時間を過ぎた塗料は使用を避けてください。  
可使時間を過ぎた塗料を使用すると塗膜性能不良となります。
- 蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分にご注意ください。
- 詳しくはSDSをご参照ください。

- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものを使用してください。
- 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
- 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
- シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
- エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
- 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
- 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合は、目荒らしを行って再度塗装してください。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- 使用前には充分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料毎の可使時間内に塗装してください。又、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 2液型塗料は、硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 排水溝には捨てないでください。
- 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。又、開栓後は早目に使い切ってください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
- 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分にご注意ください。
- 材料の保管・取扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 ☎06(6391)3151  
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・北海道・仙台